

職場環境を改善しようとしないうるJR東海を許さず、職場から声を出そう！

2012年度協約・協定改訂団体交渉始まる！

純利益は過去最高！しかし職場環境改善に難色！

「基本協約・協定改訂」交渉は8月16日、第1回団体交渉がはじまり、組合側から要求の主旨説明を行いました。

JR東海労は、①JR東海の平成24年度第1四半期決算では純利益が前年同期比66%増の614億円となり過去最高を記録した。②昨年の東日本大震災による大幅な減収からここまで利益を上げてきたのは社員の努力によることはいままでもない。社員の努力にしっかりと応えるべきである。③職場には問題が山積している。職場環境が改善されないことに多くの社員が不満を感じている。④真摯に労働組合の意見を聞き不満の解消、現状の改善を前提に議論すべき。などを主張しました。しかし、JR東海は、景気の先行きが不透明などを理由に職場環境改善などに難色を示しました。そして第2回団体交渉が8月22日に開催され、JR東海から回答が示されました。そして本日29日から具体的な協議が始まります。

JR東海は、社員の努力にしっかりと応えよ！

検修庫の暑さ対策を万全に行うべきだ！

8月22日の第2回団体交渉の中で示されたJR東海の回答の中で、車両所職場における暑さ対策については、JR東海労の「車両所職場における全ての検修庫を冷暖化する。又、熱中症対策として水分補給のための冷水機の増設及び飲み物を全職場で用意し配布すること（後略）」という要求に対してJR東海は「防暑対策は作業環境の改善及び労働災害防止の観点からもハード及びソフトの両面から過去より検討し実施している。水分補給に当たっては既設のものを使用されたい」と言うだけです。皆さん連日暑い中で作業していて、この回答をどう思いますか？到底納得いきません。

幹鉄事のある担当課長（6月当時）は社員との面談の中で「大井の検修庫は、ブローがこもる環境で非常に暑い。屋根上は40℃を超える時もある。非常に環境としては辛い中での作業である。交検は、昔より少ない人数で、短い時間で、上に行ったり下に行ったり、重量物も扱う体力的に辛い作業だ」と語っています。このようにJR東海は検修庫の劣悪な環境と作業者の重労働ぶりを正確に把握しているのです。にもかかわらず、暑さ対策をしっかりと実施しようといっています。JR東海労新幹線地本は熱中症防止を含め、安全で明るく働きやすい職場環境を目指し取り組みを進めます。

職名と作業内容は必ずしも一致するものではない？

また、車両係に上位職である技術係の業務を行わせ責任だけ増えている、いわゆる「ゴールデンハンマー」について、JR東海労の「そのような運用は止めること」を求めた事に対してJR東海は「そのような考えはない」とし、さらに「職名と作業内容は必ずしも一致するものではない」と応えています。職名と作業内容が一致しないとはどういうことでしょうか？職名と作業内容と給料は関連しないのでしょうか？

社員は日夜にわたりJR東海の安全・安定輸送に向け精一杯努力してきました。だから現在の利益があるのです。JR東海は社員の努力にしっかりと応え、職場環境などを改善すべきです。JR東海労新幹線地本は、職場から声を出し取り組みを強化します。

乗務員職場の労働条件を改善しよう!

子供の入学式、卒業式にも参列できない!

新幹線の乗務員職場でも問題は山積しています。職場の社員は、年休を申し込んでも発給されないと悲鳴を上げています。毎月欠かさず申し込んでも年休が発給されず失効してしまうのです。JR東海は、時季変更権を行使しますが、別の時季を指定しません。乗務員の勤務は不規則で土、日の休日は月に一度位です。年休が発給されないため子供入学式や卒業式に参列したことがない乗務員も数多くいます。また冠婚葬祭も二親等以外は基本的には年休が発給されません。旅行や同窓会なども難しいのが現実です。原因は、JR東海の要員の設定にあります。季節や曜日により臨時の新幹線が運行されると運転士や車掌が足りなくなるのです。JR東海は秋の臨時列車(10月、11月)は対前年比102%(約500本増)となることを発表していますがこのままでは更に要員が逼迫するのは明らかです。

安全確保のために適正な要員を配置せよ!

要員が少ないため新幹線の乗務員がマイナスになる日が度々あります。その為にJR東海は社員にことわりもなく一方的に休日勤務を指定しています。私たちJR東海労は7年前、一方的な休日勤務の常態化により十分な休養も取れず、安全も損なうとし、解消を求めて指名ストライキで闘いました。そして翌年から一方的な休日勤務の日数が減りましたが、未だに解消には至っていません。また、JR東海は今日「休日出勤はゼロにはならない」と開き直っているありさまです。私たちはこのような傲慢な会社の姿勢を許さず、安全確保のために、年休完全取得と一方的休日出勤解消できる要員配置を求めます。

夏季期間のネクタイ・上着着用を省略せよ!

暦上では処暑が過ぎましたが、相変わらず猛暑のままで日夜の作業が辛い毎日です。これは乗務員や駅員も例外ではありません。社会的には「スーパークールビズ」が奨励されている昨今ですが、JR東海は違います。乗務員や駅員は猛暑の中でもネクタイ・上着着用が義務付けられています。私たちは夏季のネクタイ・上着着用を省略し、開襟シャツを貸与することをこの間要求していますが、会社は「企業のイメージやサービスに対する当社の姿勢」として一向に改善しようとしません。汗だけでお客様と接することは不快を与えるものであり、何よりも社員が熱中症の危険に晒されているといえます。このようなJR東海の姿勢は非常識そのものではないでしょうか。JR東海労新幹線本日は、健康と快適な労働環境を確保する為に取り組みを進めていきます。皆さんも共に声を出して行きましょう!

JR東海労働組合新幹線地方本部

東京都中央区八丁堀 2-1-2

Tel:03-3551-2240 Fax:03-3551-2246

E mail : jrcushinkansen@yahoo.co.jp